

平成 23 年 9 月 6 日

お客様各位

富士電機株式会社  
放射線システム統括部 営業技術部

『食品放射能測定システム』の一部仕様変更についてお知らせ

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のお引き立てをいただき、厚く御礼申し上げます。

先般、プレスリリースさせて頂きました『食品放射能測定システム』について製品改良の為一部仕様変更になりました。変更内容は下記の通りです。仕様変更箇所をご確認ください。よろしくお願いいたします。

敬具

記

項目	【仕様変更前】	【仕様変更後】
測定対象物	葉菜類、米穀類、肉類、その他食品類	葉菜類、米穀類、牛肉 *その他食品類についてはお問合せ下さい。
測定時間	長さ 60cm の箱で約 12 秒 (全数測定のコンベアスピード:約 5cm/秒) 長さ 60cm の箱で約 120 秒 (精密測定のコンベアスピード:約 0.5cm/秒)	長さ 60cm の箱で約 15 秒 (全数測定のコンベアスピード:約 4cm/秒) 長さ 60cm の箱で約 150 秒 (精密測定のコンベアスピード:約 0.4cm/秒)
測定モード	全数測定モード 精密測定モード	全数測定 (牛肉モード/野菜・米モード) 精密測定 (牛肉モード/野菜・米モード)
測定容器	段ボール	野菜・米の場合、梱包箱 (段ボール) 牛肉の場合、専用パレット (パレット寸法:53(W)×36.5(D)×20.5(H)cm)

以上

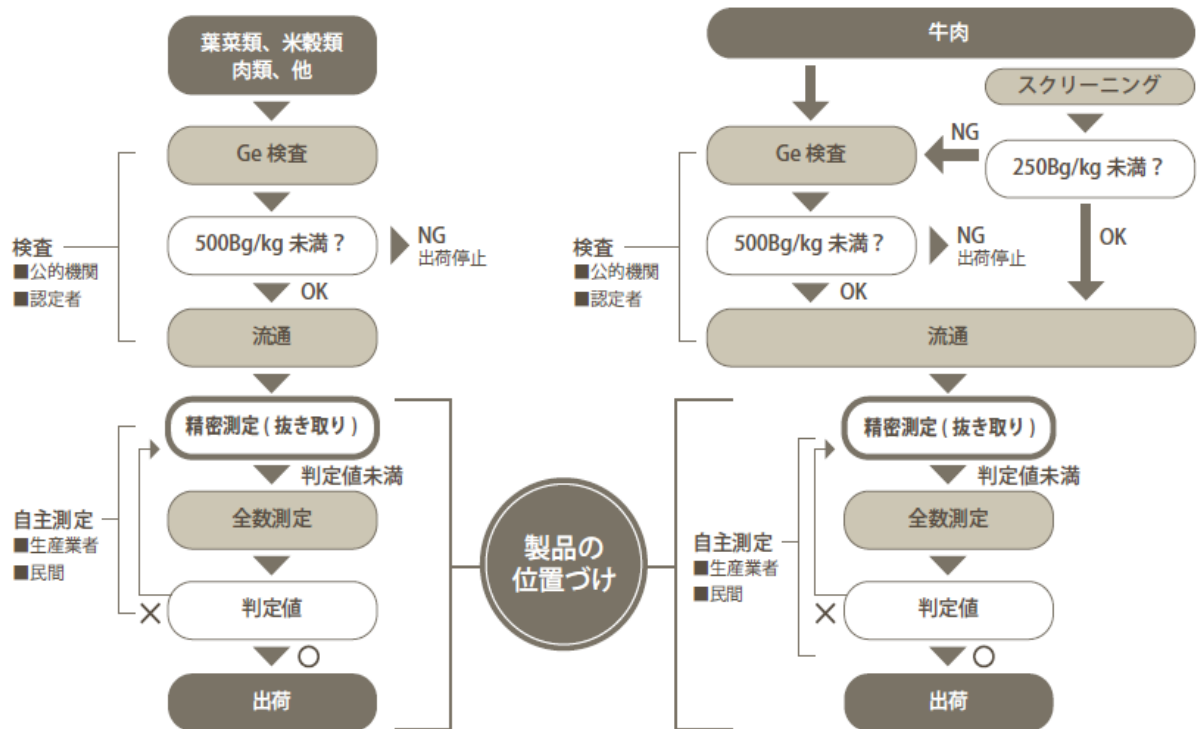
御参考資料

### 食品放射能測定システムの製品位置づけについて

弊社では本製品の使用目的を下図の通り位置づけしております。  
測定結果は、自主検査の位置づけとなり公的機関、認定者の測定結果とはなりませんので  
ご注意ください。

【食品の放射性セシウムスクリーニング法と製品の位置付け】  
製品は、公的機関により検査合格となり流通された食品に対して、  
生産業者や民間が自主的に検査（自主測定）するための装置です。

【牛肉中の放射性セシウムスクリーニング法と製品の位置付け】  
製品は、公的機関により検査合格となり流通された牛肉に対して、  
生産業者や民間が自主的に検査（自主測定）するための装置です。



以上